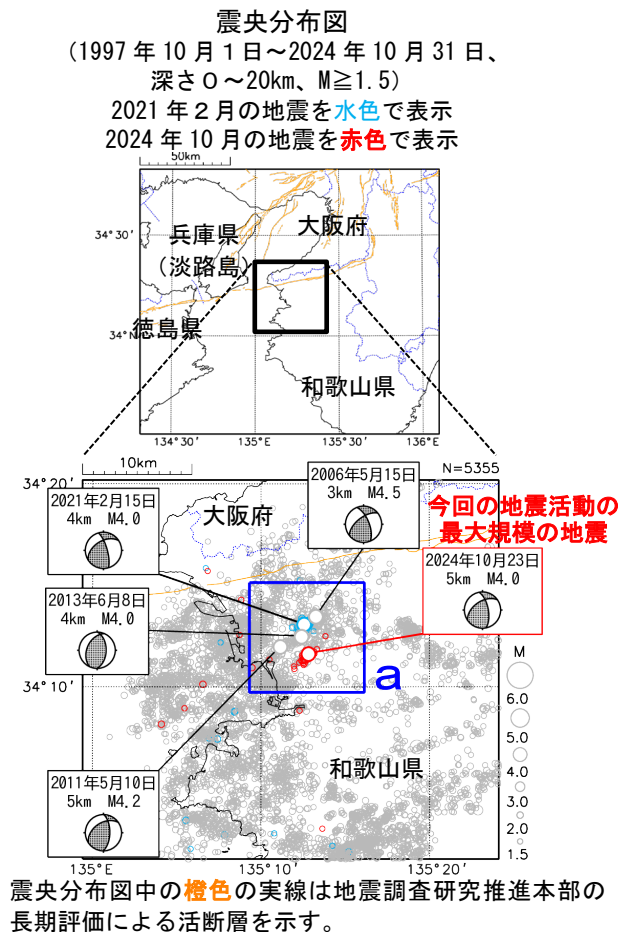
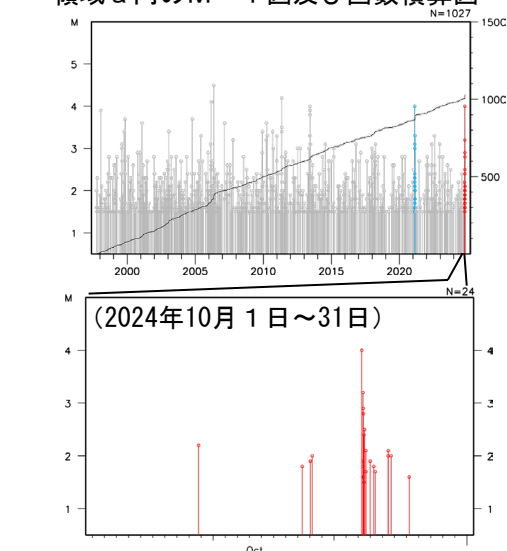


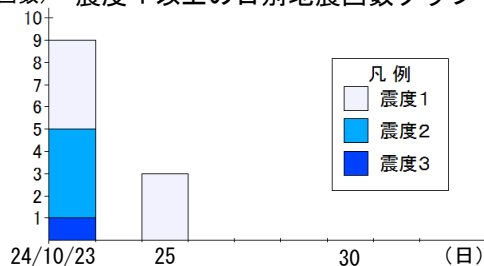
10月23日からの和歌山県北部の地震活動



領域a内のM-T図及び回数積算図



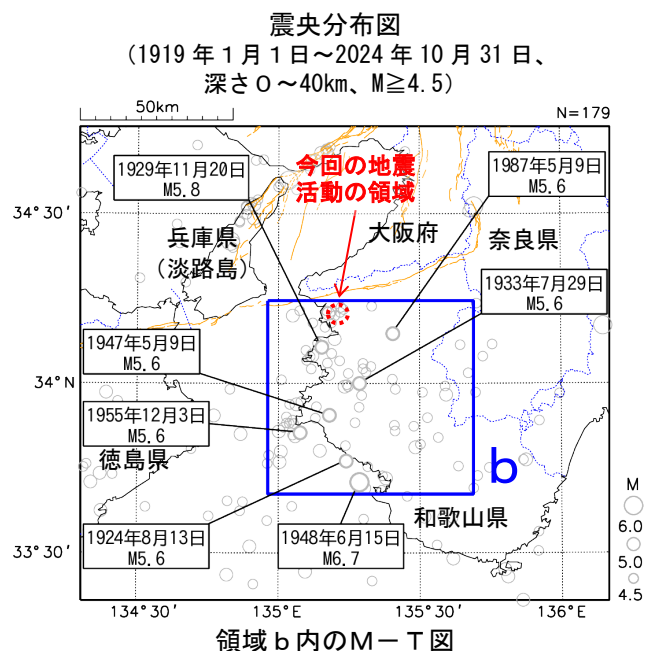
(回数) 震度1以上の日別地震回数グラフ



和歌山県北部では、2024年10月23日07時頃からややまとまった地震活動がみられ、23日から31日までに震度1以上を観測した地震は12回（震度3：1回、震度2：4回、震度1：7回）発生した。このうち最大規模の地震は、23日07時08分に発生した $M4.0$ の地震（最大震度3）である。この地震は地殻内で発生した。発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。地震回数は時間の経過とともに減少してきている。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震活動域付近（領域a）は、定常的に地震活動がみられる領域である。最近では、2021年2月に地震活動が活発となり、2月15日から28日までに震度1以上を観測した地震が25回発生した。このうち最大規模の地震は、2月15日に発生した $M4.0$ の地震（最大震度4）である。

1919年以降の活動をみると、今回の地震活動域周辺（領域b）では、 $M5.0$ を超える地震が時々発生している。このうち、1948年6月15日に発生した $M6.7$ の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。



領域b内のM-T図

